

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2009年07月24日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2008000005"/> 整理番号 <input type="text" value="11251"/> 担当者 <input type="text" value="井上 典之"/>
表 題	<input type="text" value="複合材料の耐久性を向上させるための表面改質剤処理システム"/>
技術分野	<input type="text" value="機械・加工"/> <input type="text" value="化学・薬品"/> <input type="text" value="無機材料"/>
適用製品	<input type="text" value="レジン系繊維強化型あるいは粒子分散型複合材料"/>
目 的	<input type="text" value="本発明では、レジンとフィラーとの接着耐久性を向上させるため、シラン処理剤に1,2-ビス(トリメトキシシリル)エタンを添加した表面改質材を開発した。"/>
技術概要	<input type="text" value="1) γ-MPTS(γ-methacryloxypropyl trimethoxysilane)のシリコン官能基の加水分解促進剤として塩酸を用い、塩酸の濃度がレジンの接着耐久性におよぼす影響を検討した結果、塩酸をシラン処理剤に添加すると、γ-MPTSのメキシ基の加水分解を促進し、セラミック表面へのシラン処理剤の吸着を促進するため、接着耐久性が向上する。塩酸の濃度が0.05 mol/Lの濃度で、最も高い接着耐久性を示すことが明らかとなった。"/> <input type="text" value="2) γ-MPTSの濃度がレジンの接着耐久性におよぼす影響"/> <input type="text" value="γ-MPTSの濃度が50 mg/ml以上では、接着耐久性は一定である。しかし、サーマルサイクルを施すことにより、5 MPaの接着強さの低下が認められた。"/>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp